

2022. 6. 9 木村 亜希子

最新のアトピー治療薬

## 『モイゼルト軟膏1%、0.3%』

大塚製薬株式会社 遠藤 真之 様

場所：コンパス調剤薬局藤沢

参加者：熊山ともみ、鈴木里菜、吉井智子、藏田桃子、石田菜央、波間薫、隅山毬子、鈴木亜湖、井上栞里、木村亜希子

近年、国内におけるアトピー性皮膚炎の患者数は年々増加傾向にある。乳児期・幼児期に発症し、小児期に寛解するか、その後も寛解・再発・増悪を繰り返し、成人まで持続する慢性疾患であるアトピー性皮膚炎に対し、国内初の外用 PDE4 阻害薬として開発されたモイゼルト軟膏について勉強した。

### 【効能・効果】

アトピー性皮膚炎

### 【用法・用量】

通常、成人には1%製剤を1日2回、適量を患部に塗布する。

通常、小児には0.3%製剤を1日2回、適量を患部に塗布する。症状に応じて、1%製剤を1日2回、適量を患部に塗布することができる。

### 【禁忌】

本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者。

### 【副作用】

0.5%以上 色素沈着障害、毛包炎、そう痒症

0.5%未満 膿か疹、ざ瘡、接触皮膚炎

### 【特徴】

- ・ホスホジエステラーゼ (PDE) 4 の活性を阻害して抗炎症作用を示す、本邦初の外用 PDE 4 阻害剤。
- ・軽症から中等症のアトピー性皮膚炎の症状を改善する。
- ・5 2 週間塗布したときの IGA 累積反応率は成人で 3 4.9 4 %、小児で 5 2.5 0 % だった。
- ・通常、成人には 1 %、小児 0.3 % (症状に応じて 1 % 製剤) を、1 日 2 回適量を患部に塗布する。  
(小児は 2 歳以上～1 4 歳以下、適量は 3 0 cm<sup>2</sup> に 1 g 程度 = 1 F T U の考え方で OK)
- ・妊娠可能な女性には、本剤投与中、及び投与後薬 2 週間は適切な避妊を行う必要がある。

### 【質疑】

Q、ステロイド薬から切り替えについて、気を付けること・特徴はありますか？

A、中等症では、導入でステロイド使用後、ステロイドを徐々に減らしていきつつ、モイゼルトを使用することができる。軽症の場合は、導入～維持までモイゼルトだけで賄うことも可能。

Q、保湿剤との併用は可能か？重ねて塗布するときの順番は？

A、併用は OK となっているが、重ね塗りは試験の中で検討されていない。

軟膏の性質上、モイゼルトを先に塗ってほしいが、答えはない。

同様に、軟膏の性質上、他薬との混合はお勧めしない。

Q、1 % と 0.3 % の製剤の適応について詳しく確認

A、処方医のコメントがあれば、初回・小児で 1 % での処方可能。

成人における減量の目的で 0.3 % は使用できない (成人に適応がないため)。1 % 製剤で 1 日おきなどの減量が望ましい。

0.3 % は 2 歳未満には使用できない。

### 【考察】

・2 歳以上の小児から安全に使用でき、使用上の制約の少ない点や、新しい作用機序を持つ薬なので、これまでの治療で使用が難しかった方への症状改善に使用の幅が広がると感じる。また、皮膚の厚さに関係なく同等の効果が得られる点や、これまでのアトピー治療薬と比べてひりつき・ほてり感が軽減されているという点で、全身で使いやすいつと感じた。

新しい機序の外用剤なので、製剤の特徴を十分に発揮できるよう、正しい用法用量で使用できているか確認することが薬局にとって大事な役割になると感じる。